

いしのまき



復興本番へ決意新たに

震災がれき処理が完了 県の仮設焼却炉 火納め式



石巻市イメージキャラクター

主な内容

- P 2・3 ----- 明日へと響け
復興のつち音
- P 4・5 ----- 復興事業の進捗状況
- P 6~8 ----- 震災復興情報

東日本大震災で発生した石巻地方の災害廃棄物の処理業務が完了し、1月18日(土)、潮見町にある県の仮設焼却炉で火納め式が行われました。

国、県、2市1町の代表が焼却炉の火を消すスイッチを押すと、式典会場のスクリーンからその様子が映し出されました。出席した約300人は無事にこの日を迎えたことに拍手を送り、「復旧から復興への転換点」として新しいまちづくりへの決意を新たにしていました。

仮設焼却炉は平成24年5月から稼働し、これまでに約56万トン进行处理しました。県内9カ所のがれき焼却施設はこれで全て役目を終えました。

「思い出の品」最終公開展示会

市では平成23年5月23日から津波で流出した「思い出の品」を「思い出の写真」デジタル公開センター、市役所5階市民サロン、各総合支所、出張展示会等で引き渡しを実施してきましたが、返却数の減少や物品の状態の悪化が進んでいるため、今回の最終公開展示会をもって、「思い出の品」の展示・引き渡しを終了します。

とき 3月1日(土)～11日(火) ※休館日 3日(月)・10日(月)

ところ 河北総合センター「ビッグバン」3階 北上川ホール

受付時間 午前9時30分～午後4時

展示内容 写真、学用品、賞状、トロフィー、位牌、遺影、その他

※終了後は、市で供養して焼納する予定です。

※「思い出の品」をお引き取りになる際は、身分証明書を忘れずにお持ちください。

※デジタル公開センターおよび各総合支所での公開は2月28日(金)をもって終了します。ただし、デジタル公開センターは、2月26日(水)をもって閲覧終了となります。

※市役所5階市民サロン(平日 午前9時～午後4時)ではデジタル処理したデータのみ公開を続けます。

☎ 危機対策課(内線4168)

